

業 績 目 録（令和元年）

教室・部門名 生体構造科学

(A-a) 英文著書

(A-b) 和文著書

(B-a) 英文総説

(B-b) 和文総説

(C-a) 英文原著

- 1 ○ Koizumi T, Taguchi K, Mizuta I, Toba H, Ohigashi M, Onishi O, Ikoma K, Miyata S, Nakata T, Tanaka M, Foulquier S, Steinbusch HWM, Mizuno T. Transiently proliferating perivascular microglia harbor M1 type and precede cerebrovascular changes in a chronic hypertension model. J Neuroinflammation, 16: 79, 2019. (IF=5.793) (神経内科学との共同)
- 2 ○ Ikuno M, Yamakado H, Akiyama H, Parajuli LK, Taguchi K, Hara J, Uemura N, Hatanaka Y, Higaki K, Ohno K, Tanaka M, Koike M, Hirabayashi Y, Takahashi R. GBA haploinsufficiency accelerates alpha synuclein pathology with altered lipid metabolism in a prodromal model of Parkinson's disease. Hum Mol Genet, 28:1894-1904, 2019. (IF=5.100)
- 3 ○ Shirahase T, Watanabe Y, Tsujimura A, Kwak S, Yamamoto T, Kanamura N, and Tanaka M. Ethanol Preference and Drinking Behavior Are Controlled by RNA Editing in the Nucleus Accumbens. Front Behav Neurosci, 12: 331, 2019. (IF=2.512) (歯科口腔科学との共同)
- 4 ○ Taguchi K, Watanabe Y, Tsujimura A, and Tanaka M. Expression of α -synuclein is regulated in a neuronal cell type-dependent manner. Anat Sci Int, 94: 11-22, 2019. (IF=1.512)

(C-b) 和文原著

(D) 学会発表

学会発表は、国内外の学会における特別講演・教育講演等、シンポジウム・ワークショップ・パネルディスカッション等の発表、及び国際学会における一般発表のみ記載してください。

記載の方法は前記に準じ、題名、発表学会名、開催地を発表年の順に記載してください。

I) 特別講演、教育講演等

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Tanaka M, Shirahase T, Watanabe Y : Ethanol drinking behavior is regulated by RNA editing in the nucleus accumbens. 6th Congress of ASCNP (Asian college of neuropsychopharmacology). 2019 Oct 11-13; Fukuoka.

III) 国際学会における一般発表

- 1 Matsuda KI : Neurostructural basis for regulation of sex-specific behaviors. The 3rd Sino-Japan symposium on the frontier of behavior neuroendocrinology. 2019 Mar 20-22; Ibaraki (University of Tsukuba).
- 2 Matsuda KI, Balabanov I E, Uchiyama K, Yamada S, Tsukahara S, Tanaka M : Neuronal activation after sexual behavior in the sagittalis nucleus of the hypothalamus. The 19th congress of the international federation of associations of anatomists (IFAA 2019). 2019 Aug 9-11; London, UK.

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 790 万円

※ 金額につきましては、すべて本人への助成金額を記入してください。また、令和元年度の直接経費のみを記載してください。

公的助成

代表（総額）・小計 790 万円

研究代表者：田中雅樹

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（B） 平成 29 年～令和 2 年度
オートファジーのストレス・情動系関与についての機能形態学的研究
助成金額 390 万円

研究代表者：松田賢一

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 平成 29～令和元年度
妊娠・産褥期における不安情動変動の分子メカニズムの解明 助成
金額 70 万円

研究代表者：山田俊児

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和元年～3 年度
Cre/loxP システムを用いたニューロペプチド Y 発現ニューロンの機
能解析 助成金額 110 万円

研究代表者：谷田任司

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 平成 29 年～令和元年
度 胎児・新生児の脳部位特異的な好気性エネルギー代謝による神
経回路形成とその破綻機構 助成金額 110 万円

研究代表者：田口勝敏

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 平成 30 年～令和 2 年
度 マイクロ流路デバイスを用いた伝播性 α -シヌクレインの同定
と伝播阻害システムの構築 助成金額 110 万円

記入上の注意

業績目録は、別紙様式2のとおり（A-a）英文著書、（A-b）和文著書、（B-a）英文総説、（B-b）和文総説、（C-a）英文原著、（C-b）和文原著及び、（D）学会発表に分類し、それぞれ年代順に列挙し別葉としてください。

- （1）英文総説と英文原著論文については、Impact Factor がある場合には、論文ごとに Impact Factor(最新版)を記載してください。
- （2）雑誌名が変更となっている場合はその記載の末尾に詳細を明記してください。

原則、暦年又は会計年度区分は科研費等、暦年区分が難しいものは会計年度、暦年区分が可能なものは暦年区分でお願いします。

ただし、前年データとのダブルカウント回避が優先します。